

## 図書館 ICT 化事業 「予約資料受取ロッカー」

概算費用 6,300千円

## 【予約資料受取ロッカーとは】

予約資料受取ロッカーとは、市立図書館で予約した資料を駅などに設置されたロッカーから利用者が直接受け取れるものです。

導入事例としては、神奈川県茅ヶ崎市、千葉県佐倉市、富山県立山町、大阪府泉佐野市、兵庫県西宮市、山口県下関市などがあります。

予約資料受取ロッカー設置時には、合わせて返却用ポストも設置する予定です。

## 【メリット】

- 利用者が図書館に来館しなくても資料を受け取ることが可能  
今までは図書館の開館時間に来館することができず資料を借りられなかった利用者でも、図書館の資料を借りることができるようになる
- 対面での受け渡しの必要がないので、プライバシー保護にもなる
- カウンターでの受け渡し作業が削減される

## 【デメリット】

- 設置場所へ資料を持っていく必要がある
- 返却ボックスを併設するため、予約がなくても設置場所への回収が必要
- 期限内に取りに来なかった場合、設置場所まで回収に行く手間がある

## 【勘案事項】

- ロッカーの設置場所については、犬山駅の東西連絡橋を想定しているが、その他に候補地として市役所本庁舎内、楽田ふれあいセンター、南部公民館 が考えられる。利用者の利便性や設置場所の電源設備等を考慮して決めていく。

↓富山県立山町に設置された予約資料受取ロッカーと返却ポスト。五百石駅内に設置されている。

